

## 「(仮称)学びと育ち支援システム(統合型校務支援システム)」について

「(仮称) 学びと育ち支援システム (統合型校務支援システム)」の導入については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年度当初に予定していた視察、業者打ち合わせ等が実施できず日程に遅れが生じましたが、令和3年度中の運用開始に向け取組を進めます。

### 1 経過・今後の予定について

R2年4月	新型コロナウイルス拡大防止のための臨時休校に伴う家庭での学習保障のため、オンラインによる家庭学習支援システムを先行導入
7月	先進市視察(3市)
7~8月	各社からの製品の特長等のデモンストレーションヒアリングを実施(5社)
8月	第1回「(仮称) 学びと育ち支援システム仕様決定委員会」(教育委員会事務局、学校関係者)を開催(全5回を予定)
9月	仕様決定
12月	補正予算提出
1月	公募型プロポーザル方式による受託業者の選定
2月	受託業者決定
R3年 春	システム試験運用および修正
夏	教員研修
秋	運用開始

### 2 明石市の目指すシステムのポイント

- ・カルテ化して一元管理された子どもの学びと育ちの情報を、関連機関とスムーズに連携するための具体的なシステムの構築方法やデータの運用方法について、視察で得た先進市の取組状況を参考にし、「児童虐待やいじめ、その他の生徒指導事案の未然防止・早期対応」にいかす明石版システムを構築する。
- ・GIGAスクール構想による一人一台の端末整備がなされることから、先行導入しているオンライン型学習支援システムをより有効に活用できるようにするとともに、セキュリティを担保しながらクラウドを活用した教育情報と校務情報の連携を目指す。